

INTERVIEW

尾張旭市出身で、幼少期からバスケットボールを始め、夢を追い続けてきた若野選手。16歳でBリーグの舞台に立ち、19歳となった今、名古屋ダイヤモンドドルフィンズのU22枠選手として、プロの世界でさらなる高みを目指しています。

バスケットボールを始めたきっかけを教えてください。

5歳年上の姉が始めたことがきっかけです。年長からボールに触れ、インターハイ出場経験がある父に教えてもらいながら、遊び感覚で始めました。

小・中学校では、どのような毎日を過ごしていましたか。

小学生のころは、部活動が終わった後に春日井市を拠点とするチームの練習に参加していました。

中学校に上がると、部活動とU15の練習を掛け持ちしていました。大変でしたが、楽しかったので続けられました。家族には送迎など、たくさん支えてもらいました。

中学生のころの思い出を教えてください。

部活動の顧問だった北山先生が特に印象に残っています。

小学6年生で身長が172cmあったので、それまではずっと、ゴール下でのプレーが多くなるセンターというポジションでした。北山先生から「外のポジションをやってみないか」と声をかけてもらったことをきっかけに3Pシュートなどの練習に取り組むようになり、プレーの幅が広がりました。

北山先生には人間性の面でも育ててもらいました。いつかまた、会いにいきたいです。

若野 瑛太選手

勝たせる選手になる。
尾張旭からプロの舞台へ



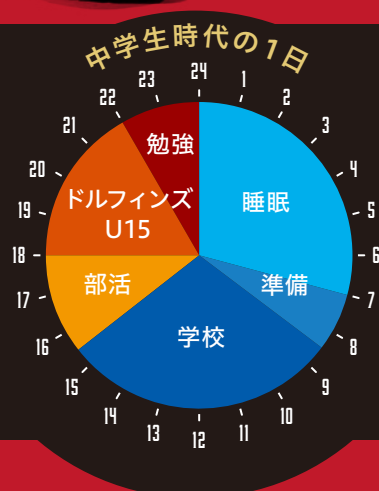
ETA
MAKANO



PROFILE

平成19年6月13日生まれ。身長186cm。白鳳小学校、西中学校卒業
2020年から名古屋ダイヤモンドドルフィンズのユースチームに所属
ポジションはスモールフォワード

中学時代、「B.LEAGUE U15 CHAMPIONSHIP 2023」に名古屋ダイヤモンドドルフィンズU15のキャプテンとしてチームを率い、チーム優勝、個人ではMVPに輝いた
「FIBA U16アジア選手権大会2023」に日本代表として選出
高校時に、当時のBリーグ最年少出場、得点記録(16歳4カ月15日)を樹立
B.LEAGUE若手選抜チーム「B.LEAGUE UNITED 2026」のメンバーに選出
市内のお気に入りグルメは、コピラの「バターチキンカレー」



若野くんは中学生の頃から、名古屋ダイヤモンドドルフィンズのU15チームに所属していたので、とても忙しい日々だったと思いますが、スケジュールの許す限り部活動に参加してくれる、責任感の強い生徒でした。当時から、体が大きく、特注の机を用意したことも、懐かしい思い出です。

技術だけでなく、仲間を思いやる気持ちや周囲への感謝を忘れない、模範となる存在でした。その姿を見て「こういう人がプロになるんだな」と感じました。

いつか、日の丸を背負う姿を楽しみに。そして、けがに気を付けて、長く活躍する選手になってほしいと願っています。これからも応援しているよ、瑛太!

旭中学校
北山晋也先生



バスケットボールを続ける中で、苦しかった経験はありますか。

中学3年生の時のジュニアウィンターカップ準々決勝で、勝敗を決める大事な場面のラストシュートを任せてもらいましたが、シュートを外してチームが負けてしまいました。

それがきっかけで、今のままではいけないと考えるようになり、練習への取り組み方や生活習慣を全て変えました。

失敗したからこそ、自分の考えを変えることができ、自身の成長につながったと考えています。

座右の銘はありますか。

「勝たせる選手になる」という言葉を大切にしています。U15時代のコーチに言われた言葉です。

当時は「点を取ることで仕事」だと思っていましたが、ディフェンスやボールを持っていないときの動きも含めて、本当の意味でチームを勝たせられる選手になりたいです。

若野選手の武器といえば、3Pシュートですね。

高校3年生の時に、チャンピオンシップで1試合8本の3Pシュートを決めたことがあります。

その試合をきっかけに自分はスリーポイントが武器なんだと思うようになりました。そこからはシューターとして自分の武器を磨く努力をしています。



今季から背番号が「31」に変更されました。

ずっと憧れている今村佳太選手の背番号が「30」。その次の数字にすることで、憧れの存在をいつか超えたいという気持ちを表しました。

また、今年からトップチームがメインになるため気持ちを切り替える意味もあります。これまでのように「学ぶ」だけではなく、チームの勝利に「貢献すること」が自分の役割だと思っています。チームの一員として出場機会を勝ち取りたいです。

これからの目標を教えてください。

まずは、ドルフィンズでプレーオフを勝ち上がり、リーグ優勝すること。そして、いつの日か、日の丸を背負う選手になりたいです。

市民の皆さんへメッセージをお願いします。

僕自身、ここまで続けてこられたのは、バスケットボールが大好きだったことももちろんですが、家族や指導者、チームメートなど本当にたくさんの人に支えてもらったからだと思います。その恩返しを、これからは結果で示していきたいと思っています。

ドルフィンズのホームアリーナのIGアリーナは本当に大きくてきれいなので、ぜひ一度来てほしいです。尾張旭からもたくさん応援に来てもらえると嬉しいです。

写真提供:名古屋ダイヤモンドドルフィンズ

